

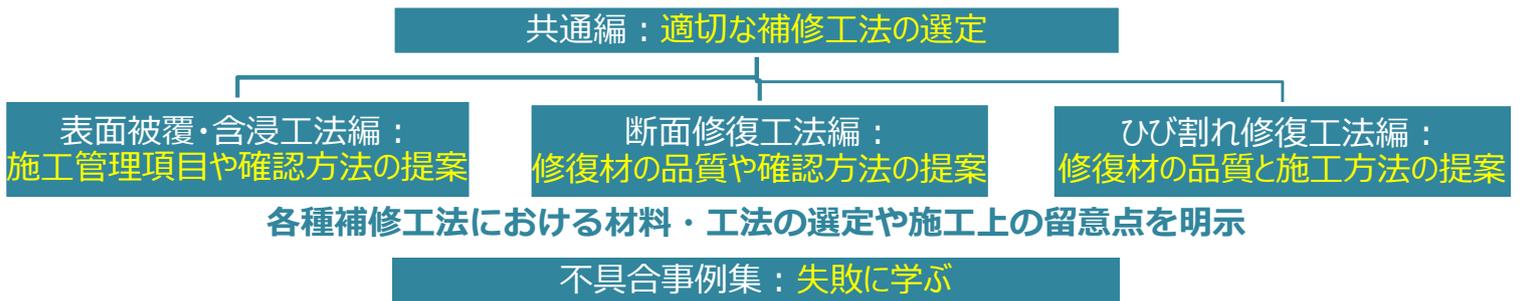
コンクリート構造物の補修

コンクリート構造物の補修対策施工マニュアル 2022年版

概要

土木研究所では、近年の補修材料・工法に関する研究成果や、不具合事例の調査結果を整理して、2016年にコンクリート構造物の補修対策施工マニュアル（案）を作成し、さらに、内容の充実と新たな知見等を加えて改訂した2022年版を作成しました。マニュアルは、共通編、各補修工法編、および補修後の不具合事例集で構成され、2022年版ではシリコン系表面含浸材と断面修復工法の新たな知見等を追加しています。

マニュアルの構成



2022年版の主な改訂内容

表面被覆・含浸工法編

■実環境での長期暴露試験を継続中

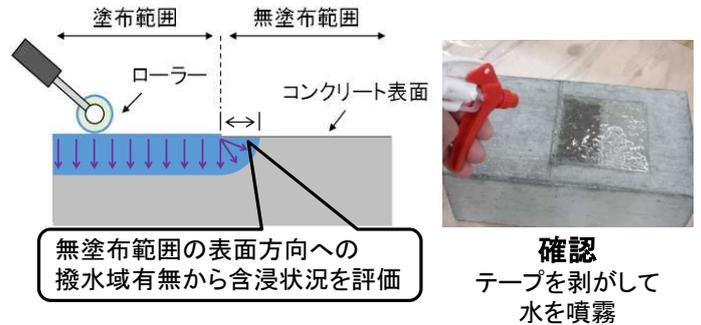


表面被覆材（暴露30年）
・塩分遮断性を確認



シリコン系表面含浸材
・塩分浸透の低減効果を確認

- シリコン系表面含浸材の施工の留意点を整理
- シリコン系 含浸状況非破壊確認法の提案



断面修復工法編

■吹付け工法（湿式、乾式）の評価方法および供試体の作製方法の留意点

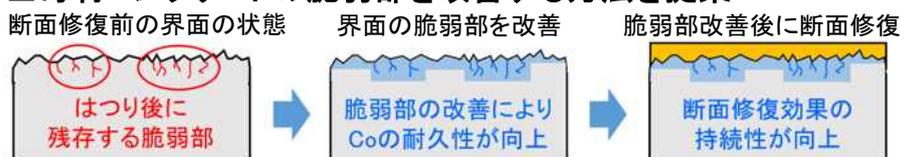


パネル型枠への吹付け

■各種鉄筋防食工法の特徴と留意点を整理



■母材コンクリートの脆弱部を改善する方法を提案



マニュアルはホームページからダウンロードできます。

<https://www.pwri.go.jp/team/imarrc/research/tech-info.html>（先端材料資源研究センター）

http://zairyo.ceri.go.jp/ceri_zairyo/topics5/drtop.html（寒地土木研究所 耐寒材料チーム）

お問合せ



国立研究開発法人土木研究所
先端材料資源研究センター
<http://www.pwri.go.jp/>
TEL 029-879-6761



国立研究開発法人土木研究所
寒地土木研究所（耐寒材料チーム）
<http://www.ceri.go.jp/>
TEL 011-841-1719